

令和4年度横浜市病院協会事業報告

1 新型コロナウイルス等感染症対策(公益事業)

(1) 医療提供体制については、引き続き Y-CERT（横浜市医療調整本部）等に参画しながら、対策の検討及び強化を図った。

具体的には、デルタ株からオミクロン株への移行に対応した新たな医療提供体制の課題に対応したアンケート調査の実施とその結果を踏まえた受入病床等の拡大への会員病院に対する協力要請等を行った。更に感染法上の位置付けの変更に向けたアンケート調査を実施し、円滑な通常医療への移行に取り組んだ。

(2) 横浜市の抗原検査キットの再配付に協力し、再配付の調整を行った。

新型コロナウイルス感染症対策については、県・市、横浜市医師会を始めとする関係団体と連携しながら、円滑な通常医療への移行に取り組んでいく。

2 救急医療対策(公益事業)

(1) 二次救急の拠点病院方式を中心とした横浜市救急医療体制に基づき、引き続き当協会及び会員病院は救急医療の提供に積極的に取り組んだ。

二次救急医療に対応する各病院の構成区分は、拠点病院Aが11病院、拠点病院Bが11病院、合わせて22病院、輪番参加病院数は30病院となっている。

加えて、病院協会として二次輪番応需（内科・外科・小児科）の必要な調整、とりまとめを行い、救急実績を集約して市に報告した。

本年度は、新型コロナ以前と比べると、救急車での来院は上回っているが、救急車以外での来院（ウォークイン）は依然として大きく減少している。

【拠点A】

【拠点B】

(単位：人)

区分	救急車	救急車以外	合計	救急車	救急車以外	合計
2022	56,490	57,701	114,191	32,038	30,556	62,594
2021	50,343	54,216	104,559	29,162	29,739	58,901
2020	42,765	47,546	90,311	27,321	27,709	55,030
2019	49,828	80,261	130,089	31,834	45,252	77,086

区分	【輪番（内・外、小児）】			【小児救急拠点】		
	救急車	救急車以外	合計	救急車	救急車以外	合計
2022	17,422	28,861	46,283	9,560	16,034	25,594
2021	16,767	28,216	44,983	6,554	12,403	18,957
2020	14,744	24,928	39,672	3,841	7,980	11,821
2019	16,909	43,258	60,167	7,017	22,540	29,557

(2) 心疾患、脳血管疾患、産科、整形外科等の救急医療に取り組んだ。

3 災害時医療対策(公益事業)

- (1) 横浜市災害医療連絡会議に参画し、災害時医療に対応する連携体制の確保を図った。
- (2) 各区に設置された災害医療連絡会議に会員病院が参加し、協議及び意見交換を行った。
- (3) 横浜市病院協会として、横浜市防災会議のメンバーに加わり横浜市における防災上の課題解決に取り組んだ。

4 医療情報の収集、発信及び広報(公益事業)

- (1) 協会のホームページ「ヨコハマ医療の扉」の効果的、円滑な運用に努めた。

[ホームページ運用状況]

ホームページアクセス数： 85,690 件 (234 件/日)

時間外診療受付病院アクセス数：18,191 件 (49 件/日)

- (2) 医療・保健・福祉に関する情報を随時、会員病院に提供した。

5 地域医療連携の推進(公益事業)

- (1) 横浜市医師会など医療関係団体との連携を強化する等、地域医療体制の充実向上を図った。
- (2) 地域医療検討会（市内7方面別）を開催し、各医療機関間の情報共有や意見交換を行った。

開催回数：14 回 参加医療機関：延 275 病院

なお、「地域医療連携等に係る意見交換会」は開催されなかった。

6 行政、医療機関団体等との連携強化及び政策提言(公益事業)

- (1) 横浜市予算編成についての要望書を提出した。
- (2) 横浜市保健医療協議会に参画し、医療行政に対して必要な提言や要望を行った。
- (3) 横浜地域地域医療構想調整会議に参加し、市内7方面での地域医療検討会の状況を報告し、それらを踏まえて協会としての意見の反映に努めた。
- (4) 横浜市医療安全推進協議会に参画し、横浜市の医療安全窓口との連携強化を図った。
- (5) 横浜市の各種委員会（認知症施策検討会、人生の最終段階の医療等に関する検討会、医療的ケア児・者等支援検討委員会等）に参画し、施策の検討等を行った。
- (6) 横浜市医師会の地域医療事業部会、医療福祉事業部会、勤務医事業部会において議論に加わるとともに、各夜間急病センター運営委員会に参画し、地域医療向上に向けた研究、検討を行った。
- (7) 県立病院機構、市立大学病院等公的病院の運営に係る委員会・幹事会に参加した。

7 学術研究、講演会及び研修会開催(公益事業)

下記の講演会・研修会を開催した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインを活用した。

(1) 第24回学術講演会

開催日(対面及びライブ配信)

令和5年2月3日(金)16時～17時15分

オンデマンド配信

令和5年2月10日(金)～2月16日(木)

テーマ：「医師の働き方改革」

～現在までの取り組みと今後の課題～

講師：社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

病院長 田内 克典 氏

参加者：19人及び動画視聴者数38人

(2) 医療安全研修会（横浜市、横浜市医師会等との共催）

第1回 動画公開期間 令和4年10月21日～12月26日

テーマ「高齢者虐待 ～医療関係者・介護事業者職員に知ってほしいこと～」

第2回 動画公開期間 令和5年2月27日～4月30日

テーマ「最初が肝心！医療クレーム対応 ～事例から身につける対応術～」

(3) 横浜市看護職員認知症対応力向上研修

研修修了者：74人

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般市民向けの講演会は中止とした。

8 医療従事者の確保、定着促進(公益事業)

(1) 医師の働き方改革について、神奈川県と協力し、地域医療検討会（市内7方面別）の枠組みを活用した意見交換会を開催した。

意見交換会では、各病院における「水準」と「今後の救急の体制」について情報共有と認識のすり合わせが行われた。

(2) 看護専門学校对学生に対して、会員病院による病院説明会を、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら開催した。

開催日：令和5年3月9日（木）

参加病院：36病院

また、奨学金制度、就職に向けた受け入れ希望病院等の情報提供を行った。

9 看護専門学校の運営

学校運営は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、日々の健康状態や行動を記録し、時差登校やオンラインによる授業によりほぼ通常通り実施した。臨地実習については、関係病院・施設のご協力により実施することができた。

今年度の卒業生は、国家試験の受験結果が、98.7%の合格率であり、医療機関への就職希望者全員が市内医療機関に就職した。

令和5年度入学希望者への学校説明会等は前年度とほぼ同じ日程で実施し、前年度の約15%増の参加者を得た。しかし、受験者数は前年度とほぼ同数であった。

令和3年度に策定した老朽化調査及び中長期保全計画に基づき、初年度の設備改修等工事を実施した。

(1) 学生数

学 生	在籍者数 (令和4年4月1日)	退学者数	原級 留置者数	進級又は卒業生 (令和5年3月末)
1学年	84人(14人)	3人(0人)	2人(0人)	79人(14人)
2学年	81人(5人)	1人(0人)	5人(1人)	75人(4人)
3学年	75人(8人)	0人(0人)	0人(0人)	卒業生 75人(8人)
総 数	240人(27人)	4人(0人)	7人(1人)	229人(26人)

() 内は内数で男性数

(2) 令和5年度入学者試験結果

受験区分		試験日	受験者	合格者	入学者	
特別 入試	高校生	指定校	令和4年10月22日	22人	22人	22人
		公募校	令和4年10月22日	17人	17人	15人
	学 士		令和4年10月22日	1人	1人	0人
	社会人		令和4年10月22日	37人	23人	22人
一般 入試	第Ⅰ期		令和4年11月26日	37人	21人	16人
	第Ⅱ期		令和5年2月4日	11人	7人	5人
計				125人	91人	80人

(3) 第26回卒業生(令和5年3月卒業)の就職状況

病院への就職		進 学	その他	卒業生合計
横浜市内	横浜市外			
72人	0人	1人	2人	75人

(4) 第112回国家試験受験結果

(試験日:令和5年2月12日 合格発表:同年3月24日)

区 分	受験者数	合格者数	合格率	(参考) 全国平均
新卒者	75人	74人	98.7%	95.5%
既卒者	4人	2人	50%	36.5%
合計	79人	76人	96.2%	90.8%

(5) 主な学校行事

年月日	行事名	人数
令和4年4月8日(金)	第28回入学式(1年生82人)	
5月26日(木)	戴帽式(2年生 79人)	
6月11日(土)	第1回学校説明会	参加者 66人
6月25日(土)	第2回学校説明会	参加者 57人
7月15日(金)	第1回オンライン学校説明会	参加者 12人
7月23日(土)	第3回学校説明会・オープンキャンパス	参加者 69人
7月23日(土)	第4回学校説明会・オープンキャンパス	参加者 60人
8月27日(土)	第5回学校説明会	参加者 53人
9月16日(金)	第2回オンライン学校説明会	参加者 22人
9月23日(土)	第6回学校説明会	参加者 61人
10月14日(金)	第3回オンライン学校説明会	参加者 11人
10月22日(土)	令和5年度入学・特別入学試験	受験者 77人
11月12日(土)	第7回学校説明会	参加者 28人
11月26日(土)	令和5年度入学・一般入学試験Ⅰ期	受験者 37人
令和5年2月4日(土)	令和5年度入学・一般入学試験Ⅱ期	受験者 11人
2月12日(日)	第112回看護師国家試験	受験者 79人
3月3日(金)	第26回卒業式	3年生 75人

(6) 学生募集の取組

- ア 推薦入試指定校22校及び一般校2校の高校訪問を行った。
- イ 受験志望者やその保護者が学校説明会に参加しやすいよう、土曜日に説明会を7回開催し、参加者数は394人だった。
- ウ 平日を中心に個別の学校説明を実施し、参加者は23名だった。
- エ 民間事業者が主催する進路ガイダンスに9回参加し、高等学校等に出向き学校説明を行った。
- オ オンラインによる学校説明会を3回行った。
- カ 本校ホームページによる学校情報や受験案内の発信を行った。

(7) 看護師国家試験対策

ア 早期からの看護師国家試験模擬試験を実施した(3年生10回・2年生1回・1年生1回・計11回)。

イ 看護医療系学校受験対策の専門講師による学内補講を7日間実施した。

ウ 学力強化が必要な学生を対象に学内教員ゼミを実施するほか、民間の予備校講座の活用を図った。

エ 専任教員の国家試験対策力を向上させるため、国家試験対策セミナーを受講した。

(8) 会議・委員会・研修会

ア 学校運営会議を14回開催した。そのうち外部委員を入れた会議を2回実施した。

イ 学校関係者評価委員会(外部委員)を2回開催した。

ウ 学校評価委員会を6回開催した。

エ 職員会議を11回開催した。

オ 入試委員会を8回開催した。

カ 防火・防災対策委員会を2回開催した。

キ その他にカリキュラム委員会、実習委員会、学生指導委員会を開催した。

10 収益事業(収益事業等)

(1) 看護専門学校隣接駐車場の管理運営を行った。

(2) 看護専門学校過去入試問題集の販売を行った。

(3) 横浜スタジアム医務室の診療受託事業を実施した。

11 医療従事者の顕彰、福利厚生の実施(収益事業等)

(1) 随時、会員の慶弔に協会として対応した。

(2) 会員の親睦に係る懇親会、新年祝賀会については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、規模を縮小し開催した。

(3) 協会から神奈川県、横浜市に対して表彰の推薦を行った。

(4) 会員病院が開催する市民公開講座等に対し支援を行った。

(5 病院延べ7回)

- (5) 協会報第 69 号、第 70 号を発行した。
- (6) 協会ニュース速報を 12 回 (No.286～No.297) 発行した。

12 管理運営その他(法人)

- (1) 会員数 (令和 5 年 3 月 31 日現在) : 105 病院
- (2) 第 73 回定時総会を令和 4 年 6 月 22 日に開催した。
総会においては、令和 3 年度の事業報告・決算が審議され承認された。また、役員を選任を行った。
- (3) 理事会を 12 回開催した。
なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインも含めた開催方式とした。
- (4) 常任理事会を 10 回開催した。
- (5) 部会等の開催
救急医療、地域医療、教育・研修等にかかる各種部会を必要に応じ、随時開催した。